

新型コロナウイルス感染症対策に係る
熊本県リスクレベルについて

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、熊本県リスクレベルは、レベル0とします。

【概要】

1 県内の感染状況

期 間	最大確保病床使用率 (使用数)	新規感染者数
12月2日(木)～12月8日(水)	0% (0名)	0名

2 熊本県リスクレベルについて

今回（12月10日発表）
レベル0 なお、感染状況は先週と 大きな変化は見られない。

3 県民の皆様へのお願い

感染の状況は落ち着いており、この状況を長く続けることが重要です。県民の皆様には、引き続き基本的感染防止対策の徹底をお願いします。

熊本県 健康福祉部健康危機管理課
問合せ先：井上、横山、中満、浦江
電話：096-333-2239
(内線) 5931、5933、5934

熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和3年（2021年）12月10日】

1 熊本県における現状認識

本県の12月8日の入院者数は0人（最大確保病床に対する使用率：0%）、12月2日からの週新規感染者数は0人であることから、本県のリスクレベルはレベル0とする。

感染の状況は落ち着いており、この状況を長く続けることが重要である。県民の皆様には、引き続き基本的感染防止対策の徹底をお願いする。

今回（12/10発表）
レベル0
なお、感染状況は先週と大きな変化は見られない。

【熊本県リスクレベル】

【目的】感染者数が増加に転じるタイミングを早期に捉え、警戒を発する基準を設定することで、感染拡大防止に向けた対策の徹底や県民への早期の警戒を呼び掛ける。

※あくまでも目安であり、現状がどのレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は、本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

レベル	該当する状況	本県の基準		本県で想定する対策例
		病床基準※2	新規感染者基準※3	
レベル4 避けたい レベル	一般医療を大きく制限しても対応困難	80% (645人)	—	<ul style="list-style-type: none"> ・国への災害医療的な対応依頼 ・積極的疫学調査の重点化 等
レベル3 対策強化 レベル	一般医療の制限が必要	40% (323人)	50人 (874人)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン・検査パッケージ制度適用の停止 ・【緊急事態措置】の対策 <ul style="list-style-type: none"> -飲食店等の人数制限要請※1、休業・時短要請 -イベントの人数制限要請※1 -県外移動は極力控える呼びかけ※1 等 ・【まん延防止等重点措置】の対策 <ul style="list-style-type: none"> -飲食店等の人数制限要請※1、時短要請 -イベントの人数制限要請※1 -県外移動は極力控える呼びかけ※1 等
レベル2 警戒強化 レベル	感染増加傾向が見られているが、病床数を増やすことで対応できている状態	15% (121人)	10人 (175人)	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店を起因として県内の感染が拡大する場合、認証店以外の飲食店の時短要請※4、国へのまん延防止等重点措置要請 ・国とまん延防止等重点措置要請の協議開始 ・感染状況に応じ、感染不安を感じる無症状者への検査受検要請を検討 ・飲食店等の人数制限要請※1 ・感染リスクが高い場所への外出・移動の自粛要請 ・感染リスクの高い行動回避の呼びかけ ・段階的な病床の確保 等
レベル1 維持すべき レベル	一般医療が確保	—	1人 (17人)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的感染防止対策徹底の要請 ・イベントの感染防止対策徹底等の要請
レベル0 感染ゼロ	新規感染者ゼロを維持	県内で継続的な感染が起こっていない状況		<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言・まん延防止等重点措置地域への移動を控える呼びかけ※1 等

（※1）ワクチン・検査パッケージ制度適用による緩和対象

（※2）最大確保病床使用率（12/1時点：806床に対する入院者数）

（※3）週感染者数/人口10万人（本県人口換算）

（※4）自主的に時短に協力した認証店には協力金を支払う。

（注1）病床基準と新規感染者基準を踏まえ、感染拡大傾向や他県の状況を鑑み、総合的にレベル判断を行う。

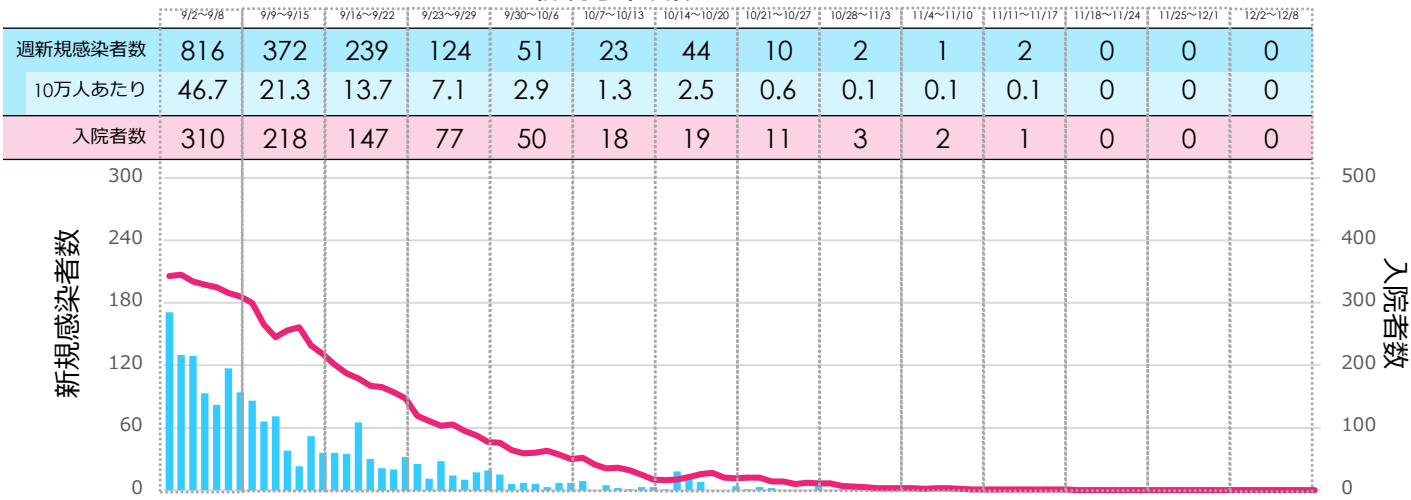
（注2）感染状況や、重症病床使用率、変異株の流行状況によっては、基準によらない判断を行うことがある。

2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (12月9日現在)

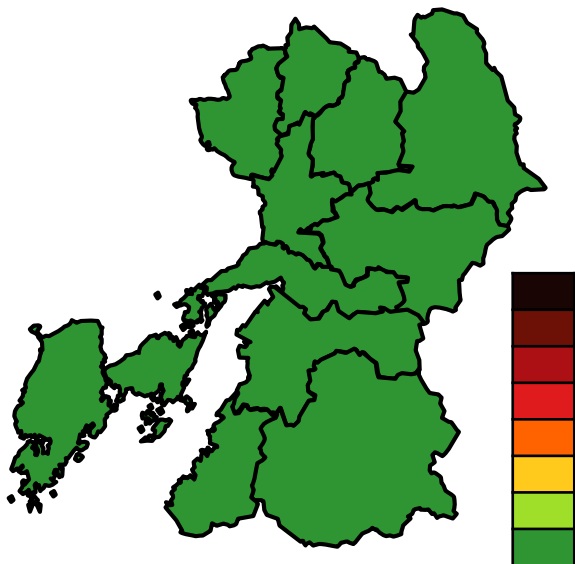
- 熊本県の12月8日の入院者数は0人（最大確保病床に対する使用率：0%）、12月2日からの週新規感染者数は0人であるため、リスクレベルはレベル0と判断することが妥当である。
- リスクレベルについては、国のレベル分類と統合し、今回から新たな基準により判断を行うこととされた。
- 新規感染症が発生した場合、発生当初は情報が乏しいため、警戒感を最大限に高める施策が必要となる。しかし、科学的知見の集積や医療提供体制の整備、ワクチン接種進行や治療薬の開発とともに、日常生活の回復を徐々に図っていくことは、感染症制御の一般的なプロセスである。
- 今回のレベル基準は、医療の逼迫度合いを主な指標としつつも、感染者の状況を注視し、必要があれば迅速に公衆衛生対策が取られるように工夫されており、対策の過渡期の状況に対応したものとされている。
- 現状においては、新たな変異株の流行や、年末年始にかけての会食機会・人流増加などにより、感染が拡大に向かうことも懸念されるため、強い対策ができるよう備えておくことは重要である。ただし、熊本県においてはワクチン接種が進行している状況もあり、基本的な感染防止対策により感染拡大を防止できる可能性もある。今後も、手洗い、マスク着用、三密回避等の対策を徹底していただくようお願いする。

【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況（9/2~12/8）：公表日ベース】

■ 新規感染者数 ■ 入院者数



【保健所ごとの感染例の確認状況】



保健所名	12/2~12/8	
	新規感染者数	人口10万人*あたり
熊本市保健所	0	0.0
有明保健所	0	0.0
山鹿保健所	0	0.0
菊池保健所	0	0.0
阿蘇保健所	0	0.0
御船保健所	0	0.0
宇城保健所	0	0.0
八代保健所	0	0.0
水俣保健所	0	0.0
人吉保健所	0	0.0
天草保健所	0	0.0

* 各保健所管内の人口は平成31年4月1日のものを使用

【医療提供体制、感染状況に関する参考指標】

時点	医療負荷の参考指標					感染状況の参考指標					
	重症病床 使用率 (最大確保病床)	療養者数	入院率 ※1	重症者数	中等症者数	必要病床数予測※2			検査陽性率 ※3	感染経路 不明割合※4	新規感染者数 今週/前週比
						1週間後	2週間後	3週間後			
12月8日	0%	0人	0%	0人	0人	0	0	0	0%	0%	0
12月1日	0%	0人	0%	0人	0人	-	-	-	0%	0%	0
11月24日	0%	0人	0%	0人	0人	-	-	-	0%	0%	0
11月17日	1.4%	2人	50%	1人	0人	-	-	-	0.08%	50.0%	2.00
11月10日	1.4%	3人	67%	1人	1人	-	-	-	0.03%	0%	0.50
11月3日	1.4%	6人	50%	1人	1人	-	-	-	0.08%	0%	0.20
10月27日	2.8%	18人	61%	2人	6人	-	-	-	0.32%	44.4%	0.23
10月20日	1.4%	45人	42%	1人	9人	-	-	-	1.04%	29.5%	1.91

※1 療養者数が人口10万人あたり10人以上（174人）の場合に適用

※2 新型コロナウイルスの感染拡大状況とワクチン接種状況に応じた医療需要の予測ツール（国立感染症研究所）の短期予測を用い、本県のデータを用い算出（感染が急激に増加する場合は、誤差が非常に大きくなるため、ツール制作者が認める範囲内でパラメータを調整する場合がある）

※3 新規感染者数（公表日ベース）及び県内の全検査数の1週間合計より算出

※4 12月10日公表リスクレベル資料より新規感染者数（公表日）、最大確保病床数による集計値を用いるため、12月1日以前のデータについて一部再集計を実施。感染経路不明割合については12月1日以前のデータは確定日ベースの集計に基づく